



家庭数 令和7年2月19日(水)

学校だより 第24号

校長 山下 恵子

高槻だより

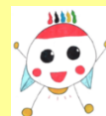
高槻小学校学校教育目標
「心豊かで 自ら学ぶ たくましい 子どもの育成」

高槻っ子スローガン



- ・あいさつで心通わす
- ・全力を出し切ってがんばる
- ・お互いを支える思いやりをもつ
- ・自分の、友だちの、命を守る

子ども



子どもにとって「学んでよかった」学校 保護者、地域にとって「預けてよかった」学校。信頼のおける学校をめざし

—あいさつでつながる槻田中校区。—

5月に学校だよりでご紹介しました、槻田中学校区(槻田中、祝町小、槻田小、高槻小)では、中学校区での目標に「あいさつでつながる槻田中校区」を掲げ、本校高槻っ子スローガンにも「あいさつで心通わす子ども」を目指す児童像に掲げています。

本校では、代表委員会で「あいさつ運動の実施」が取り上げられ、1月より毎月1回、登校時に代表委員会の児童が正門、裏門に分かれて、あいさつ運動を行っています。元気よく大きな声で「おはようございます。」のあいさつに、登校してくる児童や職員、また散歩途中の地域の方や出勤される地域の方も、笑顔で挨拶を返す姿が気持ち良いです。



始業式の時から、子どもたちには「あいさつをしっかりとしましょう。」と話してきました。挨拶は人と人とのコミュニケーションのツールです。「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」「ありがとう」など、自ら進んで、誰にでも挨拶ができる子どもになってほしいと願っています。

知って学ぶ。キャリア教育。—5年生・6年生—

12日水曜日に、キャリア教育の一環で、北九州市議の成重さんに来校いただき、市議の仕事や北九州市の今の様子、これからの構想、また八幡東区のこれからの構想についてお話をいただきました。市民から寄せられた声の中で、困っていること、早急に解決しなければならないことなど、優先順位をつけて、関係各所に交渉したり、話し合ったりして、解決していくことを教えていただきました。昨年度解決した100件の事象を紹介されると、子どもたちから「すごい」と感想が出され、「一番長くかかったのは」の質問に「八幡駅のエスカレーターを導入に、約5年間かかった」と話され、建設の面や予算の面で、一つの工事でもなかなか進まない現状があるのだと、子どもたちは思ったようでした。また、議会では多数決で決議が行われることなども、子どもたちにはウサギの人形を使って分かりやすく、教えてもらいました。2学期に、4年生と5年生が



「みらい政策委員会」で、市長に「中畑公園を誰もが安心して使えるように」を提案した件に触れ、公園の遊具がきれいに塗り直しされていることや、ベンチが背もたれ付きの新しいベンチになることを知って、子どもたちは大喜びでした。「自分たちの意見や考えが形になる。」「自分たちの思いが市に、街に通じたんだ。」と、改めてこの学習に取り組んでよかったと実感したようです。最後に成重さんが「皆さんのように、多くの市民の方が、住みやすく、安全で、安心した街になるように頑張ります。」と、おっしゃっていました。



「そうだ。学校図書館に出かけよう。—高槻小学校図書館へ—」

先日、筑紫野女学院大学の学生たちが、テーマを決めて本の紹介をまとめたブックトークワークを、本校に提示してくれました。早速、学校図書館に掲示しています。「食の大切さ」や「夢」についてなど、テーマに沿って、それにかかわる本の紹介を楽しいイラスト入りでまとめています。また、図書司書の先生による「新書ランキング」、4年生の子どもたちによる物語の一場面を切り取った粘土作品の展示など、学校図書館は様々な工夫を凝らし、楽しい読書活動の場になっています。保護者の方や地域の方々も、時間を見つけて学校図書館に遊びに来ませんか。声をかけていただければ、図書館を開放します。ぜひ、ご覧になってみてください。

*21日(金)の授業参観時には、図書館を開放します。

